

カトリック福岡司教区 DIOCESE OF FUKUOKA

カトリック福岡司教館
810-0028 福岡市中央区浄水通 6-28
TEL092-522-5139 fax 092-523-2152

Bishop's House
6-28 Josuidori, Chuo-ku
810-0028 Fukuoka, JAPAN

福岡、2021年5月7日

福岡教区の兄弟姉妹の皆様

主の平和

五月は、カトリック教会で伝統的にマリア様を思い起こす「聖母の月」と呼ばれています。今年は、教皇フランシスコは、この5月を通して、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの終息を願って、ロザリオの祈りを唱えるよう全世界の教会に呼びかけておられます。

5月には毎日、ローマ時間の午後6時(日本時間・翌日午前1時)から、世界30カ所の聖母聖堂などでのロザリオの祈りが、バチカンの公式メディアを通してライブ配信されます。世界各地の聖母聖堂などには、ナザレ(5月4日)、ポルトガルのファティマ(13日)、フランスのルルド(18日)、日本の被爆マリア像-長崎の浦上教会(21日)、メキシコのグアダルペ(26日)など主要な巡礼所があり、教皇フランシスコは5月31日にバチカン庭園内のルルドの洞窟前で祈りの月間を閉じる予定です。日本のわたしたちにとってこの時間に合わせて参加は無理と思いますが、他の時間を決めて、個人的にあるいはグループで、こういう意向でロザリオの祈りを唱えるようにお勧めいたします。パンデミックの終息は、皆が節に望んでいることだからです。

最近、何人かの方から新型コロナウイルスの感染状況を見て、福岡教区の指針について質問を受けました。今まで出された基準に従って歩みづけたと思います。念のため、新型コロナウイルスの感染状況における福岡教区の取り組み方の主な点を思い起こします。

1. 緊急事態宣言が出されたら、その県では公開ミサを中止いたします。こういう時に、カテドラルからミサを動画配信いたします。
2. 緊急事態宣言が出されていないければ、公開ミサを行います。今まで示されたルールを厳重に守ってくださるようお願いいたします。
3. 政府のまん延防止等重点措置の適用決定を受けたところでは、公開ミサをおこないますが、高齢の方・基礎疾患のある方は、できる限りご自宅でお祈りください。ただし、教会での年齢制限は行いません。なお、こういう期間に主日のミサに与る義務を免除いたします。
4. 特別な事情が生じた場合、教区事務局にご相談ください。

新型コロナウイルスの感染症の終息を心から祈ります。皆さんの上に神様の豊かな祝福を祈ります。



ヨゼフ アベイヤ
福岡教区司教